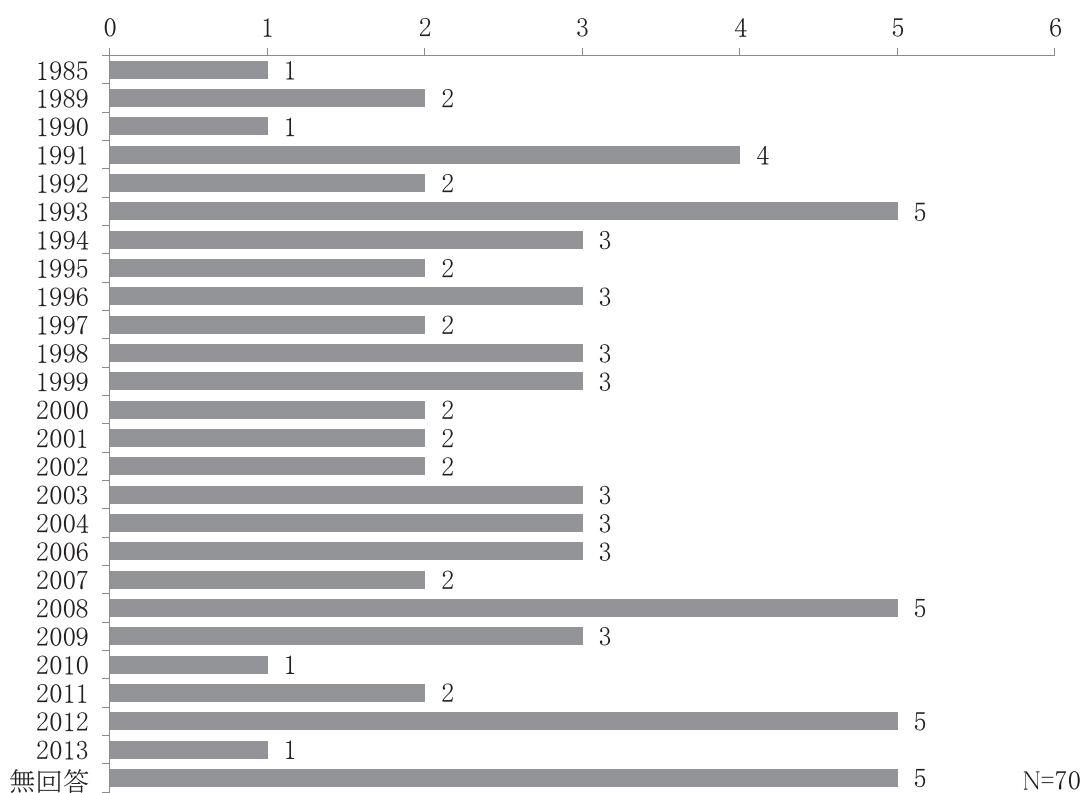


4 日本語教室調査結果

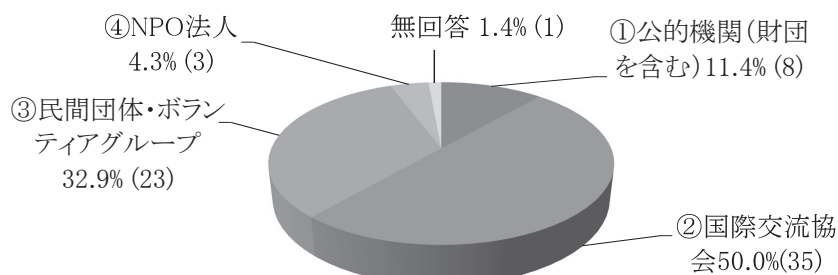
- 調査対象 県内成人向け日本語教室
※(公財)愛知県国際交流協会作成「外国人のための日本語教室一覧
(平成 23 年 11 月)」から全抽出
- 調査期間 平成 25 年 9 月 7 日から平成 25 年 9 月 27 日まで
- 回収率 71.4% (回答 70 件／送付 98 件)

■教室の概要について

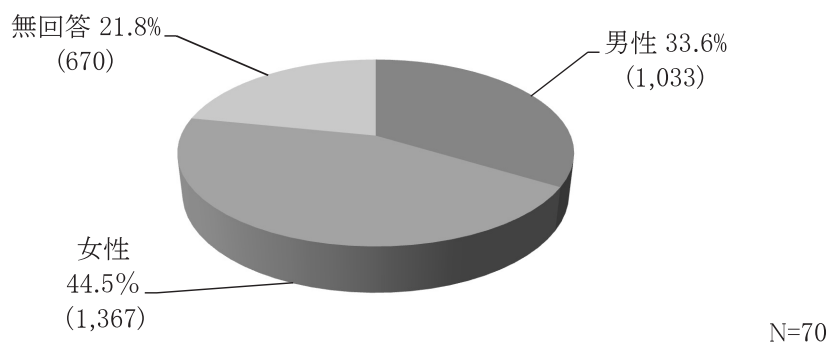
問 1 教室の設立時期



問2 主催団体



問3 学習者数

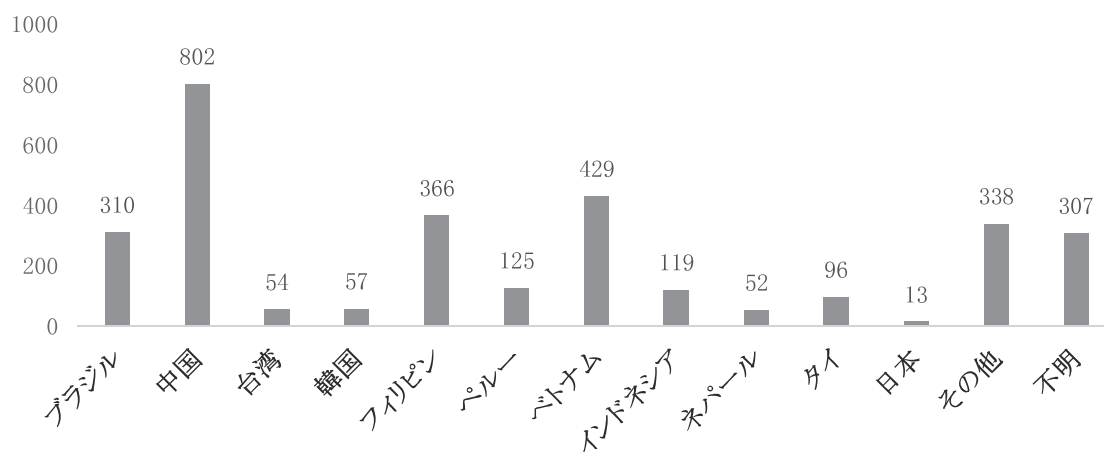


問4 学習者の国籍別・年齢別人数

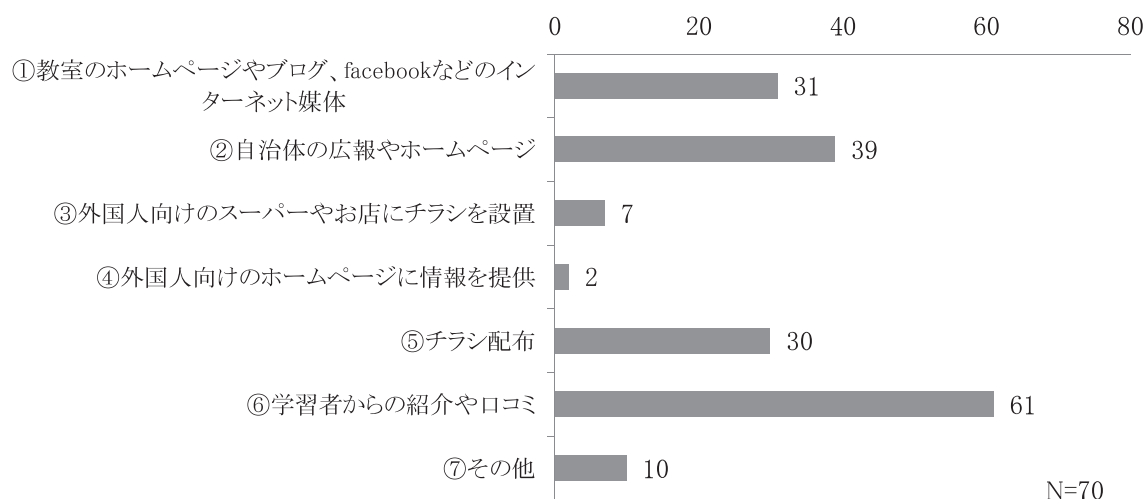
※平成 25 年 9 月 1 日現在

国籍	合計	16 歳未満	16～19	20～39	40～59	60 歳以上	不明
総数	3,068	84	105	982	270	15	1,612
ブラジル	310	16	15	82	63	5	129
中国	802	16	17	313	72	8	376
台湾	54	0	2	29	7	0	16
韓国	57	1	0	27	7	0	22
フィリピン	366	35	34	84	38	1	174
ペルー	125	6	3	38	23	1	54
ベトナム	429	0	16	190	5	0	218
インドネシア	119	0	7	42	10	0	60
ネパール	52	1	1	20	2	0	28
タイ	96	0	3	44	12	0	37
日本	13	1	2	2	1	0	7
その他	338	8	5	111	30	0	184
不明	307	0	0	0	0	0	307

※前問の学習者数の合計と異なるのは、参加者や登録者数の違いや、アンケート記入者の集計方法の違いなどによる。



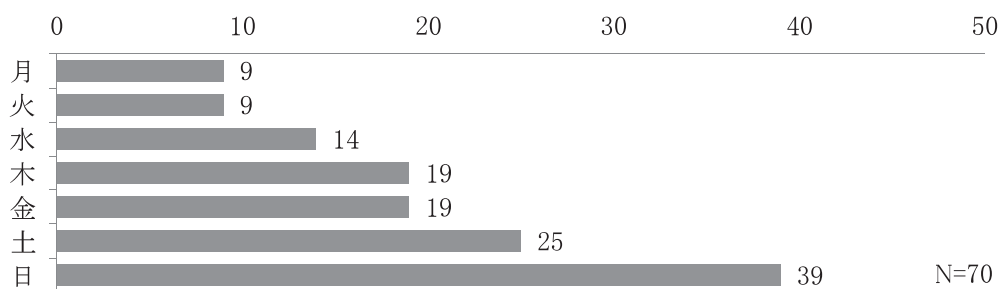
問5 学習者の募集方法を教えてください。 ※あてはまる全てに○



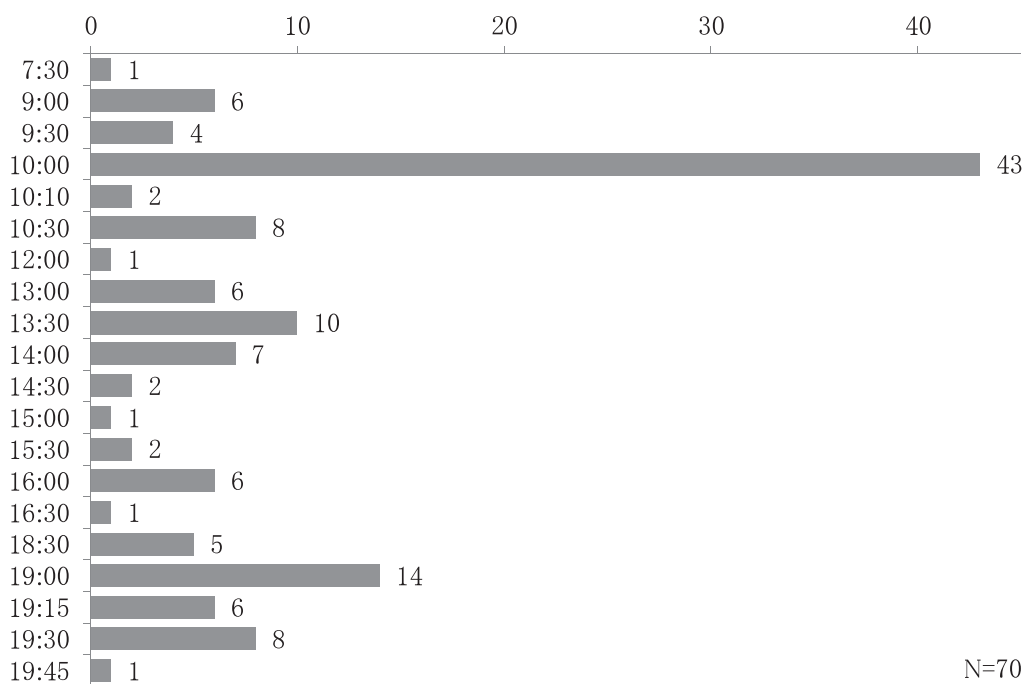
問6 教室実施日時・時間帯

※複数回答あり ※特定日や希望者に応じての開催などイレギュラーなものは含まない。

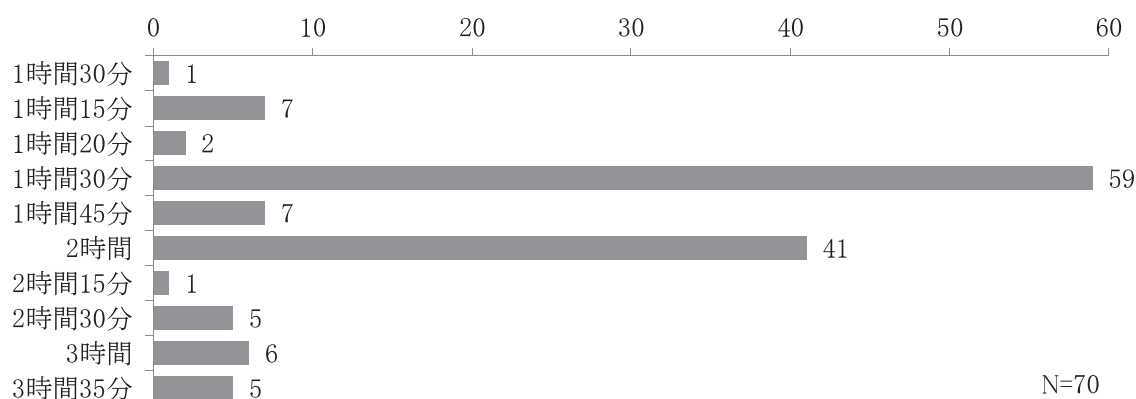
◆開催曜日



◆開始時間



◆開催時間



■地域の日本語教室について

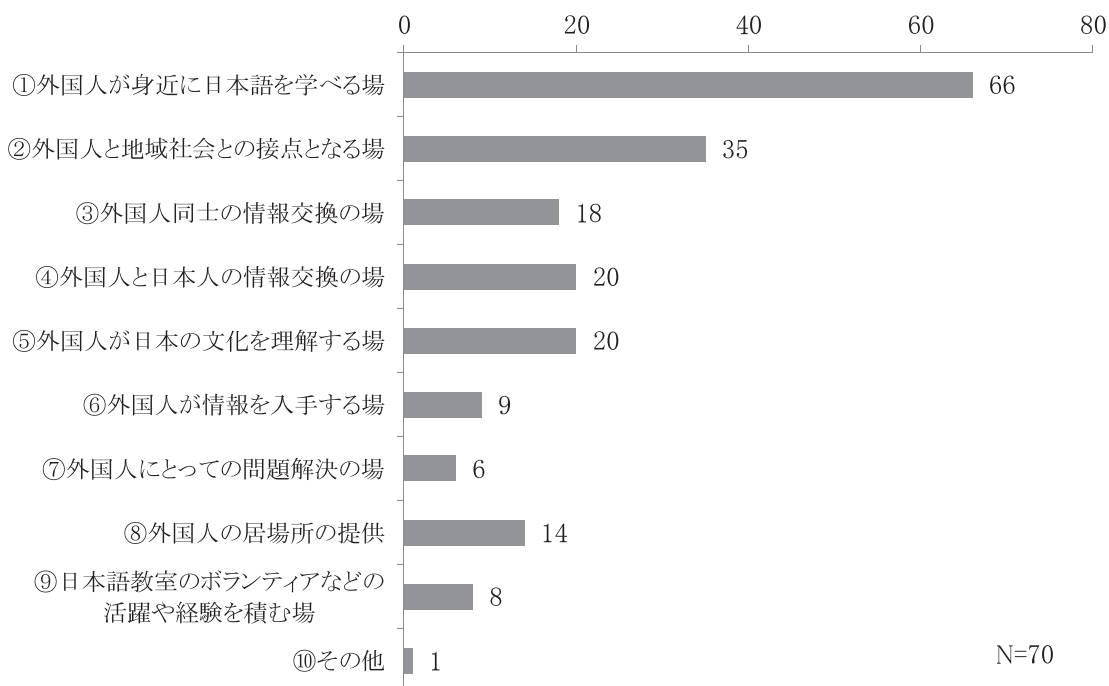
問7 貴日本語教室が掲げる目的(理念・方針)について教えてください。

※自由記述（同様コメントのまとめ）

項 目	意 見
日本語学習支援	日本語学習の機会の提供
	日常生活に必要な日本語(文字、漢字)、生活に困らないレベルの日本語を習得する。
	就労などのステップアップにつながる日本語を身につける。
	学習者の要望にそった学習を行い、目標に近づける。
	教えるという姿勢ではなく、学習者と共に学びあう。
日本語能力試験	日本語能力試験合格のサポート
コミュニケーション	地域に溶け込み、充実した、安全・安心な生活を送るために日本語によるコミュニケーション能力を向上させる。
	外国人と日本人とのコミュニケーションによる相互理解
地域社会との交流	外国人住民の地域社会との関わりをつくる。
	外国人住民同士の交流をはかる。
情報提供	学習者に生活情報を提供する。
日本文化の理解	日本文化の紹介、日本文化体験の機会の提供。
相談窓口、生活支援	子どもや子育て支援の面からも、積極的に相談できる窓口として支援する。
	学習者の生活支援
	日本人と結婚し、日本語の中に加わろうとしない人の支援。
居場所	日本語に自信のない外国人がホッとできる居場所づくり。
ボランティア	ボランティア同士が連携し能力向上を目指し、よりわかりやすい授業を展開する。
	地域の日本語教室で活動する、または地域で教室を立ち上げるボランティアの育成をする。
多文化共生	日本語学習支援を通して多文化の共生を図る。
	地域在住の外国人との共生を目指して、いろいろな国の人々と触れ合う。
	在住外国人及び地域住民の円滑な交流を推進し共に楽しく安心して暮らせる社会実現を目指す。
	ボランティア活動を通して外国人との交流を図り、多文化共生を実現することを目的とする。
その他	期內タームを設けず、いつも新規の学習者が入れる教室。
	外国人もボランティアも楽しめるような教室。
	来日した外国の方が日本を好きになるよう心を尽くしていく。
	何かの役に立つように。

問8 地域の日本語教室に求められている役割とはどのようなものだと思いますか。

※お考えに近いと思われるもの3つまで○



⑩その他

外国人が日本の文化を理解する場と日本人も外国人の文化を学び、異文化による習慣の違いなどを理解し、それらを尊敬し謙虚に行動する。

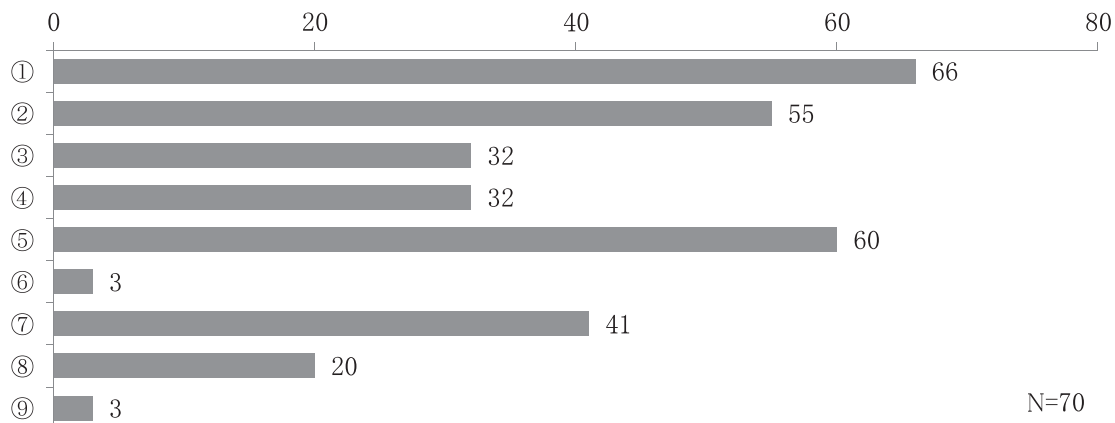
1 件

■活動内容と学習者の日本語の上達度合いの判断について

問9 教室の活動内容を教えてください。

〈設問内容〉※最も重視している順に5つまで番号を付けてください。

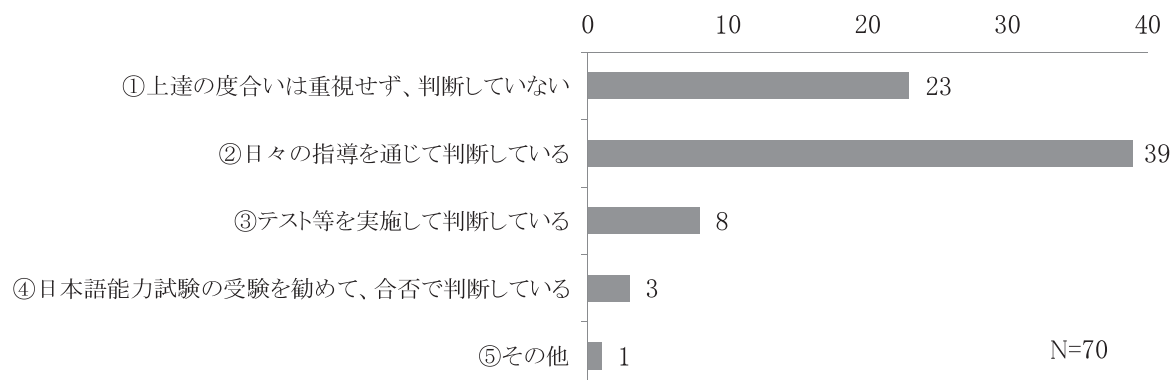
①日本語の日常会話中心	⑥ビジネスマナーや就職に必要な日本語
②日本語の読み書き中心(文字、文章、作文)	⑦日本人と外国人の交流や多文化共生
③日本語の文法中心	⑧日本の文化を教える
④日本語能力試験対策(N1・N2・N3・N4・N5)	⑨その他
⑤生活に必要な日本語	



⑨その他

学習者個々の要求に応える事を旨としているため、上記の項目は記入できない。	1 件
習字(筆)	1 件
個別のニーズに対応する。	1 件
全てにかかわっていて順位は難しい。	1 件

問10 日々の学習において、学習者の日本語の上達度合いをどのように判断していますか。



⑤その他

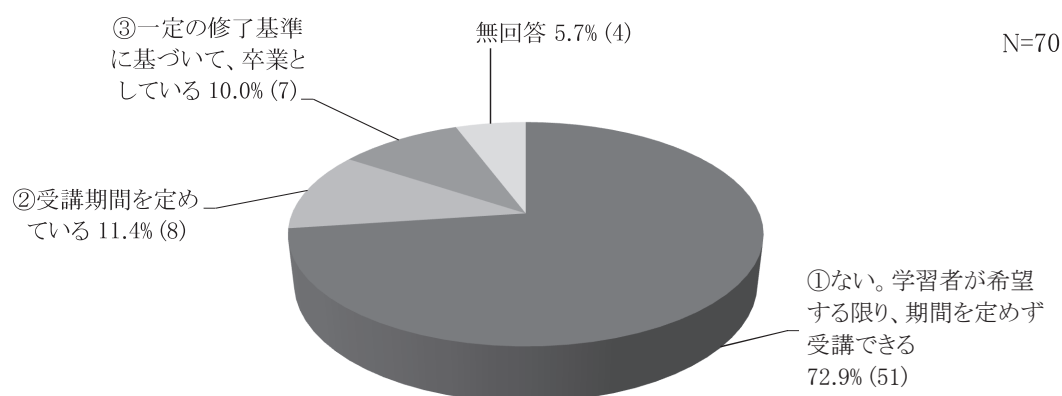
成果報告会の実施	1 件
----------	-----

問11 上達の度合いを判断した後、どのような対応をしていますか。

※自由記述 (同様コメントのまとめ)

レベルに応じて上のクラスを勧める、進級や編入をさせる。	17 件
個人に合ったレベルに合わせ教材や教え方の変更をする。	9 件
日本語能力試験を勧める、受験させる。	4 件
指導者の判断で宿題や授業内容を考える。	2 件
個別指導等必要に応じて実施する。	2 件
能力判断テスト後にクラスを決める、もしくはクラス編成をする。	2 件
上達したとほめる。お祝いをする。	2 件
復習をする。わかるまで教える。	2 件
教室活動を見直す。	1 件
クラス全員が上達していれば教材のレベルを上げる。	1 件
学習者が自身で判断している。	1 件
レベル別修了証の発行	1 件
会話ができるようになったら、読み書きにすすむ。	1 件

問12 教室には、修了(卒業)の基準がありますか。



③一定の修了基準に基づいて、卒業としている

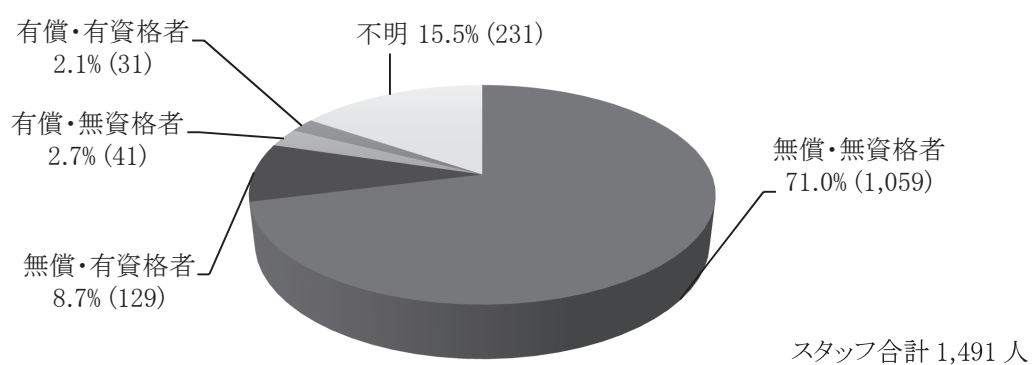
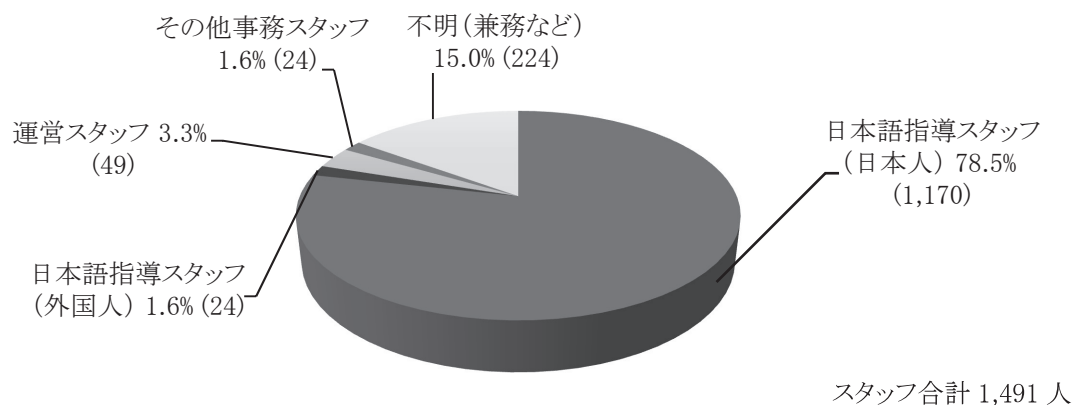
※自由記述（同様コメントのまとめ）

出席率および学習上達度で判断する。	2 件
教室回数全10回の内7回以上出席した人は一律卒業。	1 件
使用しているテキスト範囲のレベルのみ受付け、その範囲であれば何度でも受講できる。	1 件
日本語能力検定 1 級合格	1 件
日常会話ができる。読み書きができる。	1 件
毎回、最初の講座の日にレベルチェックのテストを実施し、厳密にクラス分けをしている。自分にあったレベルであれば何度でも受講できる。	1 件

■教室の実施体制と日本語指導スタッフのスキルアップ等について

問13 教室で活動されている日本語指導スタッフ・運営スタッフの人数を教えてください。

	総数	無償・ 無資格者	無償・ 有資格者	有償・ 無資格者	有償・ 有資格者	不明 (資格等)
総数	1,491	1,059	129	41	31	231
日本語指導スタッフ (日本人)	1,170	865	118	26	26	135
日本語指導スタッフ (外国人)	24	11	4	7	1	1
運営スタッフ	49	40	3	4	2	0
その他事務スタッフ	24	17	1	4	2	0
不明(兼務など)	224	126	3	0	0	95



◆その他事務スタッフの役割をお書きください

※複数回答あり（同様コメントのまとめ）

(学習者、ボランティアなどの) 受付、登録、名簿管理、送迎などの業務	5 件
教室の運営サポート(教材の購入、イベント企画、行事の準備、委員会の参加等)	5 件
授業料徴収、会計	2 件
HP、出版物などの広報活動、運営管理	1 件
託児ボランティア	1 件

※「有資格者」とは、以下のいずれかを満たした方を指します。

- 1 大学で日本語教育を主専攻または副専攻して修了した人
- 2 日本語教育能力検定試験に合格した人
- 3 日本語教師養成講座 420 時間を修了した人

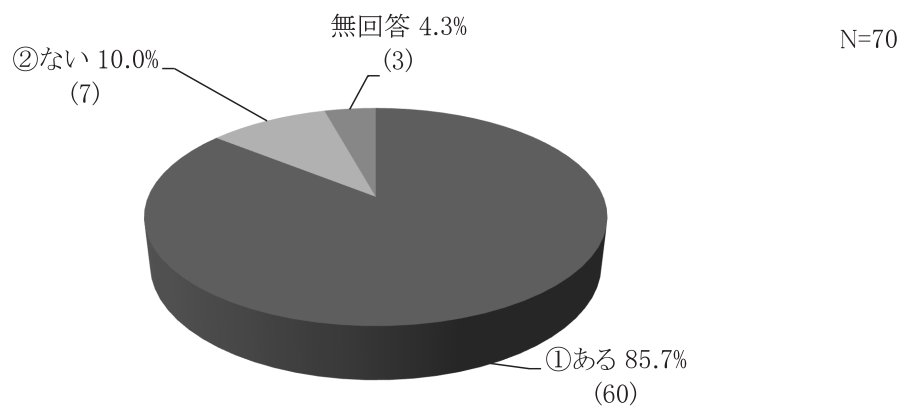
問14 日本語指導スタッフのスキルアップのために、教室として行っていることがあれば教えてください。

※自由記述（同様コメントのまとめ）

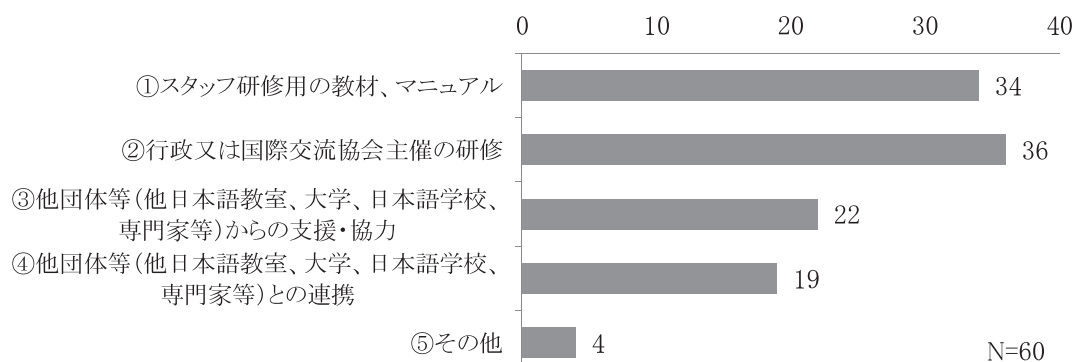
スタッフ間で勉強会、意見交換、予習などを定期的に行う。	14 件
教室で会議や研修会を開催する。	7 件
講師向けセミナー・講座、行事に参加する。	6 件
外部講師を招いて講習会を実施する。	6 件
教室終了後に反省会やミーティングをする。	5 件
行政や国際交流協会等主催の研修に参加する。	3 件
日本語ボランティア養成講座を開催する。	2 件
指導員にまかせている。	2 件
教材の研究、指導方法の確認、模擬授業を行う。	2 件
有資格者の意見を取り入れる。	1 件
特に行っていない。	3 件

問15 日本語指導スタッフのスキルアップのためにあると望ましいと思うものはありますか。

※思うもの全てに○



① ある:内容

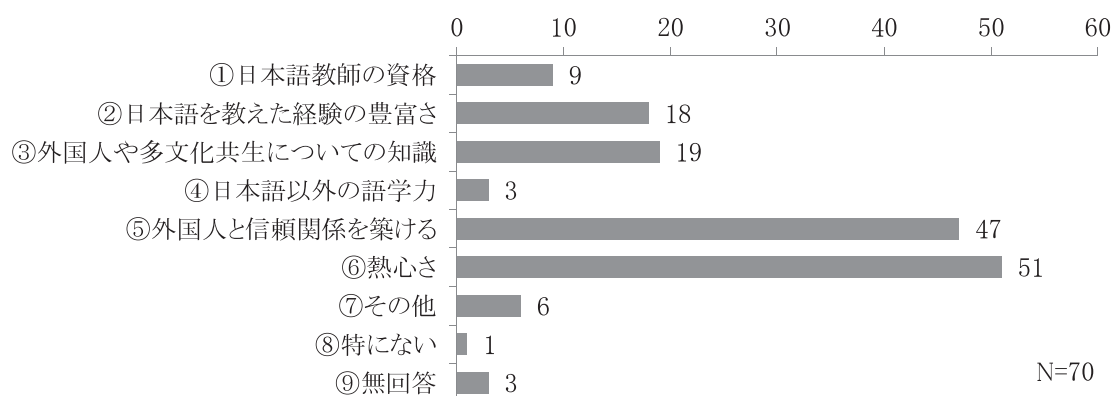


⑤その他

地域の状況や人材について知る。	1 件
講師を招いて勉強会を行う。	1 件
経験者及び指導者同士の教え合い	1 件
ライセンスを持つ専門講師にお願いしているので、講師らのスキルアップを考えたことがない。	1 件

問16 日本語指導スタッフに求める能力や姿勢などについて教えてください。

※主なものに3つまで○



⑦その他

毎回(毎週)参加できること	2 件
社会経験や日本文化の知識	1 件
継続的にボランティア活動に参加する姿勢	1 件
資格より教える姿勢	1 件
明るさ、向上心、忍耐力、教室に対する協力性	1 件

問17 日本語指導で困っていることはありますか。

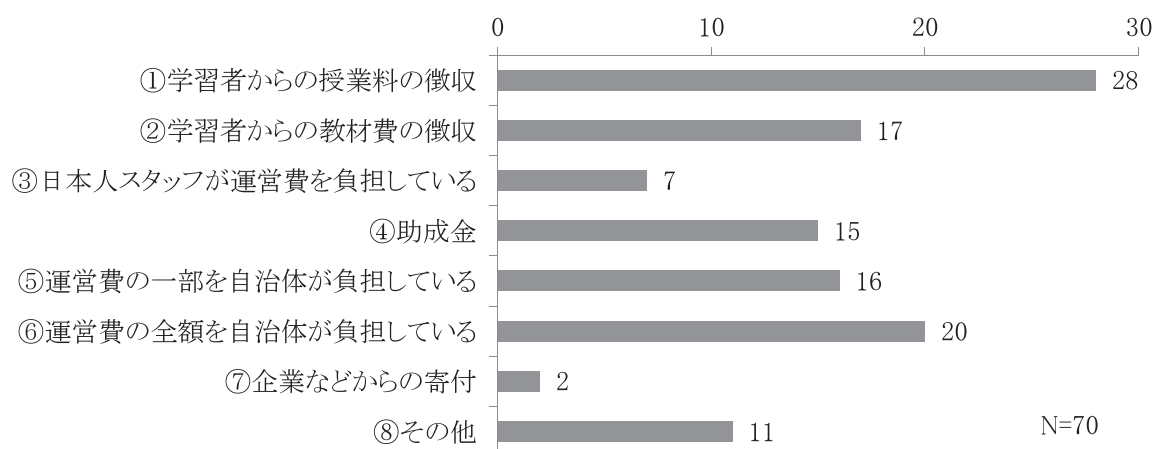
※自由記述（同様コメントのまとめ）

日本語指導の専門家がいないので、文法等の正式な教え方ができない、学習者の日本語能力の見極めが難しい等の指導方法、技術の問題。	10 件
講師・ボランティアスタッフの不足。スタッフの確保、固定化が難しい、若い人の参加が少ない。	10 件
学習者が定着しない、出席率にムラがある。	6 件
学習者のレベルの多様化	5 件
十分な教室が確保できない。	4 件
教材の不足（自主教材作成の問題、不足などの問題）	2 件
スタッフ全員で話し合う機会が十分とは言えない等講師同士の交流と協働	2 件

■教室の運営について

問18 運営費をどのように調達していますか。

※あてはまる全てに○

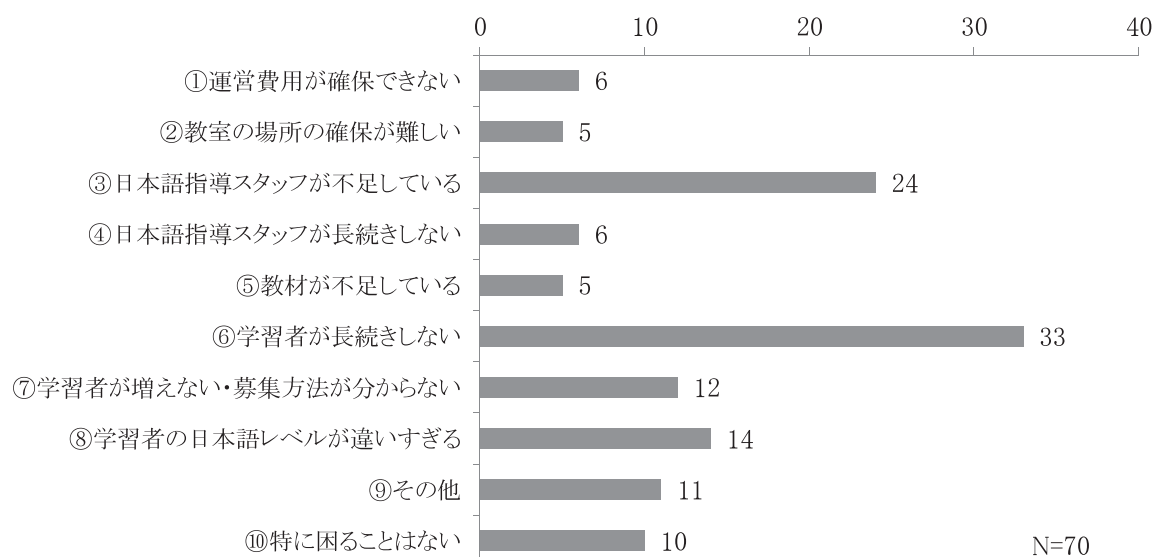


⑧その他(同様コメントのまとめ)

運営費の全額(もしくは一部)を国際交流協会が負担	4 件
スタッフボランティア、教材費は支援団体、事務費は財団	1 件
学習者から入会金、イベント代等として徴収	3 件
開催場所の利用費用を自治体で負担	1 件
交流会等はスタッフ、学習者同額負担	1 件
ボランティア会員が運営費の一部を負担	1 件

問19 教室の運営で、困っていることはありますか。

※主なものに3つまで○

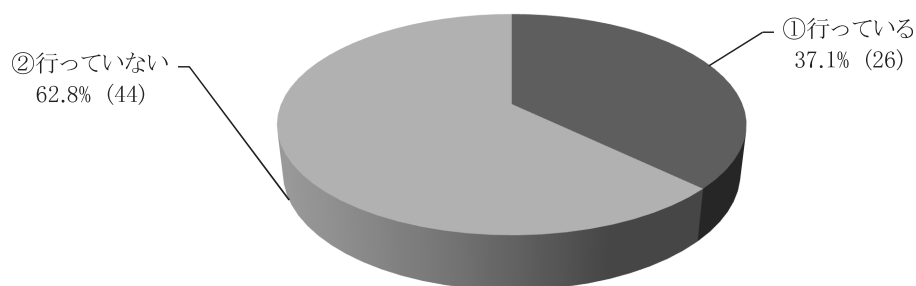


⑨その他（同様コメントのまとめ）

新規スタッフが入ってこない、スタッフが毎回参加しない等	4 件
ボランティアスタッフのレベル(責任感などの意識)に差がある。	3 件
日本語指導の専門家(経験者)がいない、資料・機材の置き場所がない。	1 件
若い方のボランティア継承が難しい。	1 件
代表希望者がいない。	1 件
地域に対してどのくらい還元できているのか不明。	1 件

■他団体との連携や今後について

問20 他の団体や日本語教室との連携や交流を行っていますか。



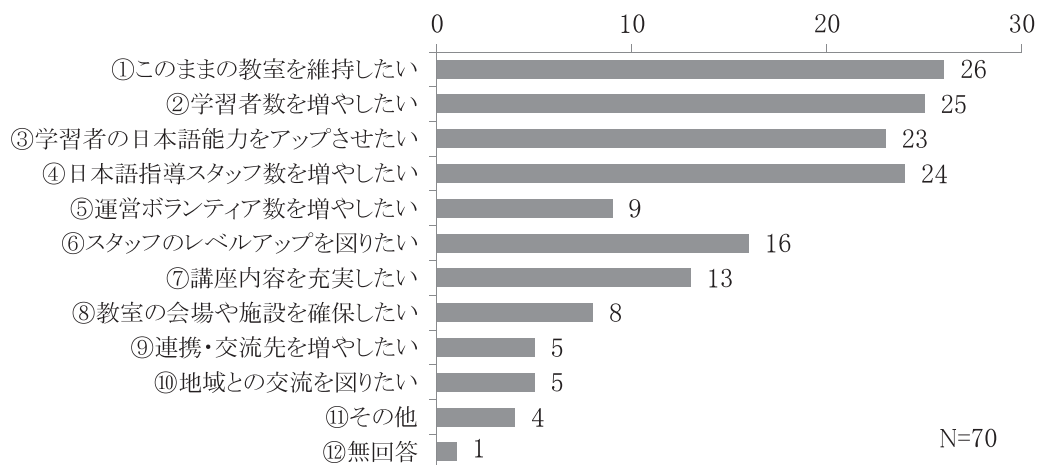
①連携や交流を行っている:交流団体と交流内容

交流団体名のまとめ ※複数回答あり	
東海日本語ネットワーク	10 件
愛知県や国際交流協会	8 件
国際交流団体、NPO 団体、 多文化共生団体、日本語教室	6 件
大学 (愛知教育大学、愛知淑徳大学)	3 件
とよた日本語学習支援システム	1 件

交流内容のまとめ ※複数回答あり	
情報取得、提供、交換	17 件
合同研修、合同会議	6 件
教材、教室のシェア、教材の提供	5 件
講師や通訳の派遣、講習会の開催	5 件
学習者の情報提供、交流会、 レクリエーション	4 件
人材交流	3 件
イベント、事業、シンポジウムの共催	3 件
印刷物の作成や募集告知など運営 協力	2 件

問21 今後、教室をどのようにしていきたいとお考えですか。

※主なものに3つまで○



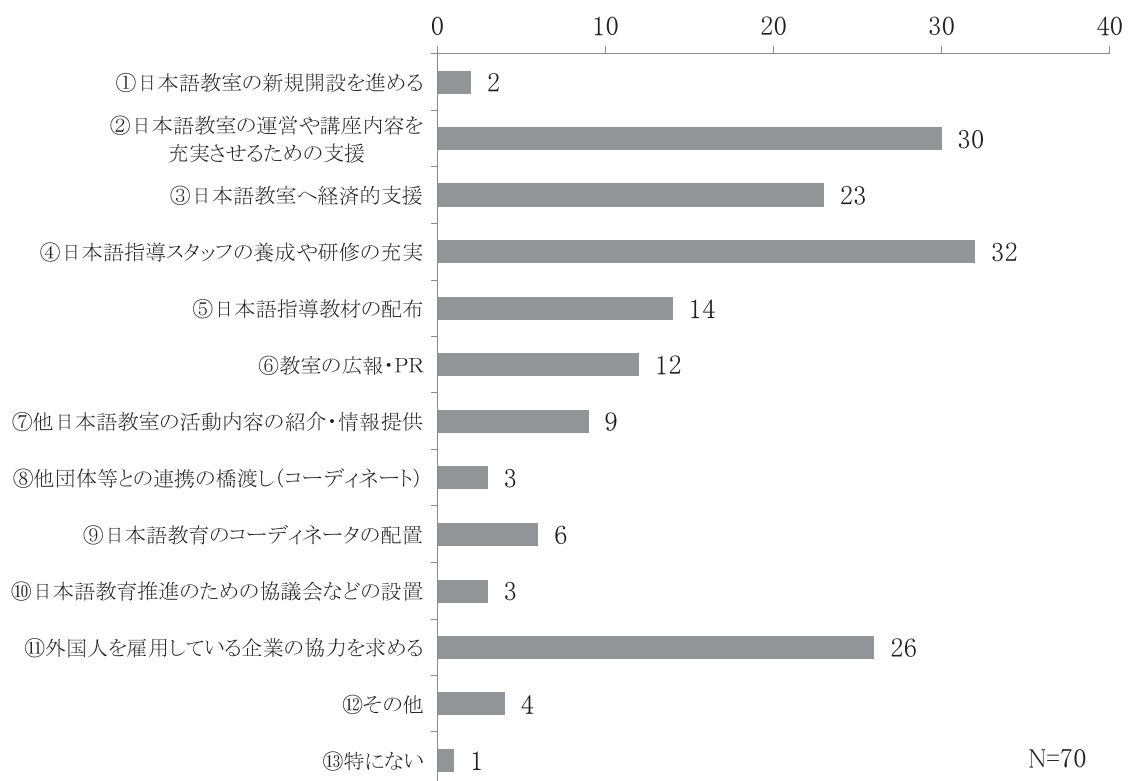
⑪その他

本年度終了時実績に基づいて判断する。	1 件
学習者の出席率を高めたい。	1 件
ボランティアのミーティングルーム(事務所)を確保したい。	1 件
ボランティアの継承	1 件

■ 県がすべきことや地域における日本語教育指針への期待について

問22 今後、地域の日本語教室について、県はどのような施策を実施するべきでしょうか。

※主なものに3つまで○

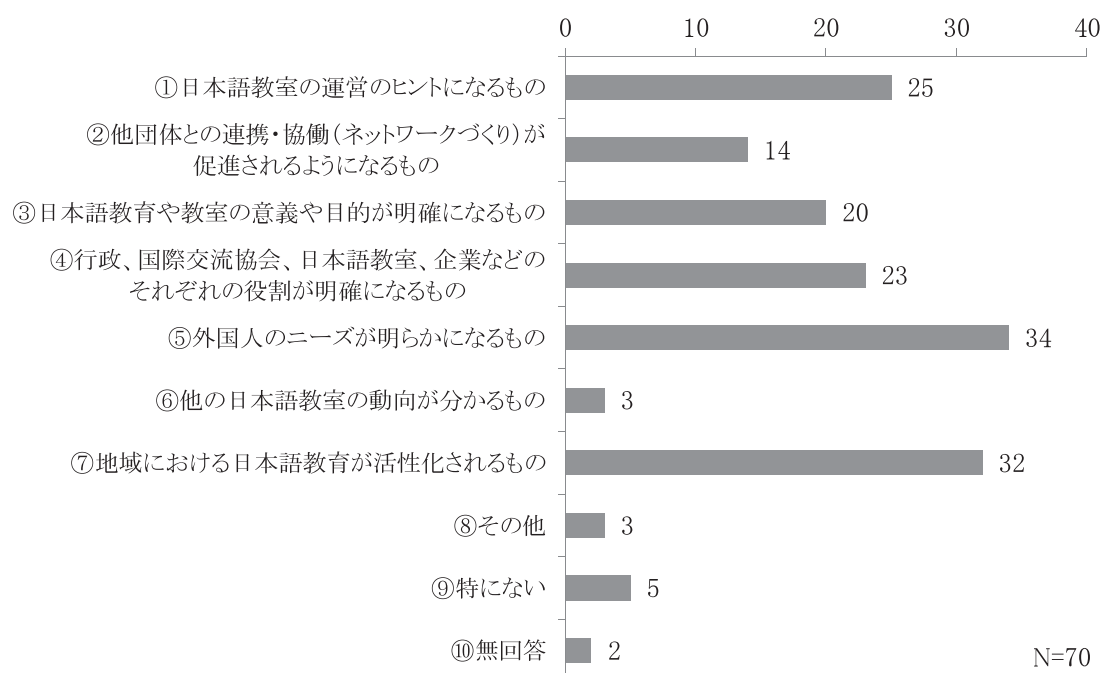


⑫その他

場所の提供	1 件
日本語学習者への補助金(奨学金)	1 件
学習者への助成金。企業主に日本語学習への理解を促す。	1 件
制度やしきみづくり	1 件
初期指導教室を設け学習機会を保障する(集中的に学習できるところ)。	1 件

問23 地域における日本語教育指針の策定に期待することを教えてください。

※主なものに3つまで○



⑧その他

個々レベルが違うので、多くの地域の人々の理解と協力が必要。	1 件
外国人が日本語を必要と思わせる方策 (日本語がわからなくても生活できてしまう。日本語を必要と思わない。)	1 件
日本語能力が社会的(就労)に評価されるしくみ	1 件

個別インタビューから 一特長ある取組をしている教室を紹介します。

◆ことばの会（名古屋市）～学習者のニーズにあったクラスを開催～

ことばの会では、初級、中級、上級だけではなく、漢字のクラス、作文のクラスなど学習者の要望にあったクラスをおよそ 20 クラス開催しています。

スタッフはボランティアですが、最初に 6 か月の試用期間を設け、この仕事に携わるために必要な知識や日本語を教える際に気を付けることなどを学びます。また、月に一度、勉強会を行い、会の目標や全員で共有しておくべき情報などを確認します。

教室運営で大事なことは、学習者のニーズを聞いてそれに応え、楽しいと思える教室を作ることです。まずは、「先生、生徒」の関係ではなく「仲間」として関係づくりをしていくこと、学習者から信頼されることが重要だと考えています。

◆シェイクハnz（犬山市）～関係機関と積極的に連携を構築～

シェイクハnzでは、地域の方にも授業に参加していただき、外国人と日本人がふれあうことのできる日本語教室を「楽田ふれあいセンター」（犬山市）で開催しています。

また、地区コミュニティ推進協議会、他の N P O 団体・日本語教室、行政、国際交流協会、小中学校などとも積極的に連携をしており、現在は、文化庁の事業で、尾北地域の日本語教室の連携を構築するネットワーク会議を開催し、学習者としての外国人の情報を共有しやすい関係づくりを目指しています。

◆トルシーダ（豊田市）～外国人の安定した就労を目指して～

トルシーダでは、豊田市ものづくり産業振興課の委託で「中級日本語講座」を開催しています。地域の他団体の日本語教室と、レベル設定や内容が重複しないよう「中級」としましたが、実際には、初級から上級まで様々なレベルの学習者がいます。講座の目的は「安定した就労」。今後、日本語能力試験のレベル認定等、日本語能力が就労において評価されるようなシステムづくりがされれば、外国人の日本語に対する興味が増し、学習意欲につながるのではないかと考えています。

◆フロンティアとよはし（豊橋市）～日本語能力試験に特化した教室～

フロンティアとよはしでは、日本語能力試験対策に特化した日本語教室を開催し、学習者がスキルアップすると同時に、精神的・経済的自立ができるように応援しています。教室の特徴としては、日本語指導スタッフが全て外国人であることです。自身も勉強して日本語能力試験 N1、N2 を取得した経験により、試験でつまずきやすい点がわかり、また、母語での指導ができることが利点です。

教室は「外国人にとっての問題解決の場」でもあるとし、日頃から学習者のバックグラウンドの理解に努め、学習者に問題が生じた場合は、必要な支援をしています。